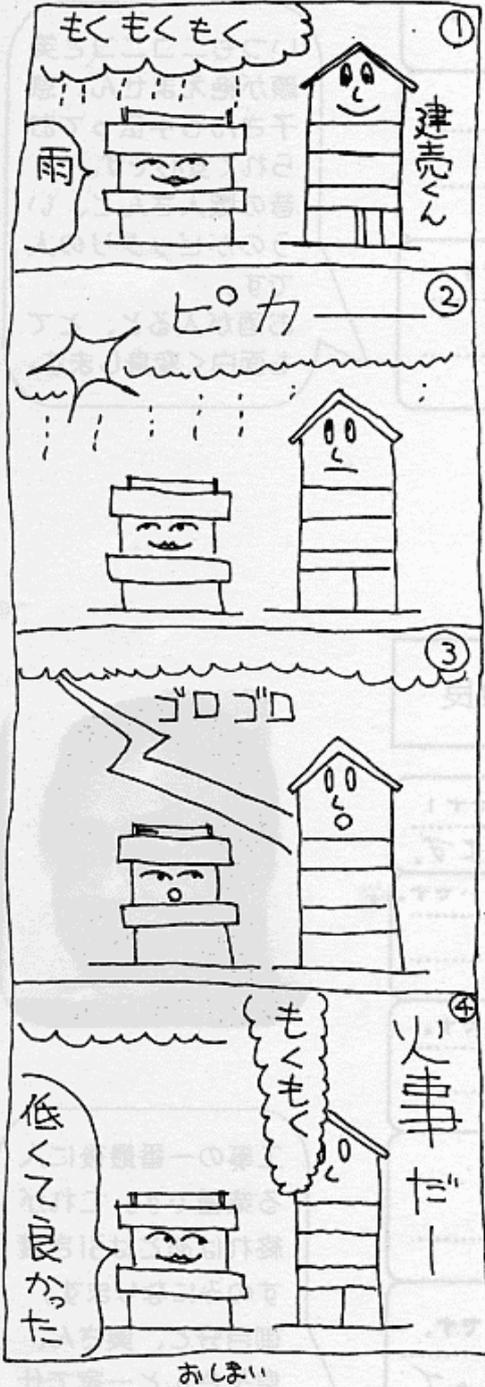


町子ちゃん 危機一発の巻



By 杉坂くん

食いしん坊な私から、最近気になるニュースをひとつ紹介させていただきます。

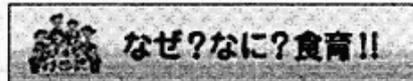
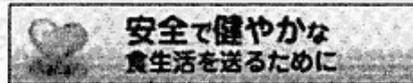
先日TVを見ていたら、自分の食卓の自給率が農林水産省のソフトで計算出来るらしいのです。

ちょっと興味があるので、のぞいてみました。

まず 農林省のトップページ をひらく

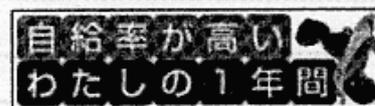
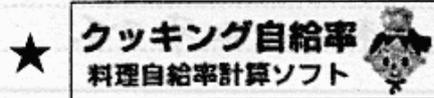
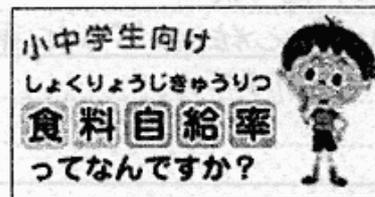
食料自給率の部屋

をクリック



次に **クッキング自給率**

をクリック



日本育ちの豚の生姜焼きを食べた場合、結構自給率が高いだろうと思い、調べてみると飼育に使われているエサがほとんど輸入のためなんと20%なんですって。。。エ〜!!

このソフト使いこなすと、かなりおもしろそうです!!

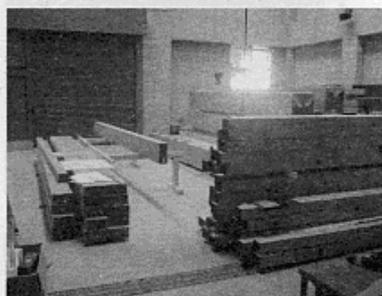
北岡

最近完成した建物です

武庫川学園浜甲子園グラウンド部室棟及びトイレ棟新築工事が完成しました。

この工事は竹中工務店様からの依頼で施工しました。鳴尾作業所の重岡所長をはじめ事務所の皆様方や、この工事の直接の主任中口さん、現場での監督の樽岡さん、お世話になりました。

工事は学園の中で墨付け加工をし、大学の建築科の生徒さんが見学され、現地での作業も見学をするということで、見られながらの作業でした。事故や怪我も無く無事に終了し安堵しました。



材料の搬入から始まり、学園側との搬入路の打合せや、日時の細かい指定があり指示通りに搬入します。

ここは建築課の生徒が実習で使う部屋です。ここでの作業となります、隣は小型ながら振動実験の機械もあり立派な設備が整っています。この建物は3ヶ月前に新築され、まだどこも新しい校舎です。

墨付け加工をしています。加工できた材料は脇に積み上げていきます。

基礎が出来たので、土台伏せをします。いつもなら基礎段階では少々大きな家でも小さく見えますが、今回は基礎だけでもかなり広く、「さすがに大きいな」と皆の感想です。

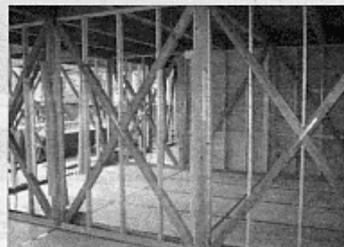
さて加工の出来具合とお天気の様子をみながら上棟日を決定します。早ければ間にあわないし、遅ければ間が開き人手が遊びます。棟梁と何回も話をし決定します。



今日は上棟です。7月の終わり頃なので天気は超がつくぐらい良い。そのかわり暑いなの、年配の人にはきつかったです。デモネ、後になるほどもっときついので辛抱してねと言いました。

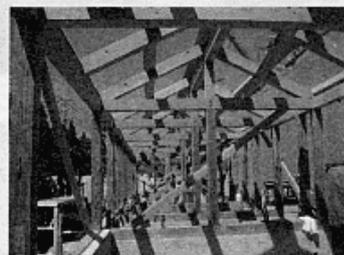
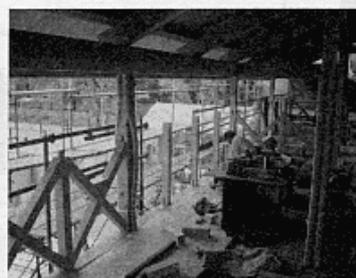
上棟開始から4日後に上棟式を行いました。学園の理事長さんの手書きの名前が入った棟を上げて神様に感謝し工事の安全と完成を祈願します。先生や生徒の代表も参加しました。





ここは金物は必要最小限しか使わず、この様なコミ栓打ちなどで固定していきます。
屋根も張れて次に内部工事にかかります

内部の作業いろいろ



横に平屋のトイレ棟も同時に建てています。
これも同じ仕様の内外部無垢材仕上げです。
工事も後半になると手摺や階段の取付けが始まります。
手摺の取付けのホゾ穴掘り 手摺の柱を建てています。

手摺の組み立て中。

ほとんど金物の使用はありません

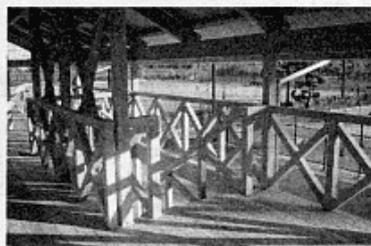
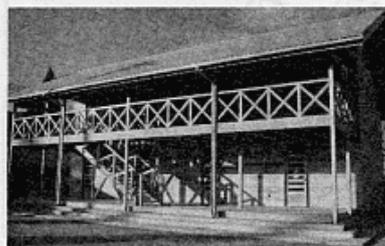
階段と階段手摺も組みます。

これは現地で寸法を測りながらになります。



完成しました外観です

階段周りや手摺の組子が外観の大きな意匠になっています。



室内です。クラブの部室なので内部は飾りなどは何もありません。
無垢の床と壁それに天井が全て化粧仕上げになっているので十分です。
シャワー室内の手洗い器もついています。

1階と2階の室内は少し違います

ふんだんに無垢材を使った建物は、反りや割れ捻れなどのことを常に考えていなければなりません。それを嫌うと合板やベニヤ板あるいは樹脂の注入材といった新建材の使用をすることになり、一時期はこれでない住宅ではないようなことも言われましたが、今は無垢材の良い所悪い所を十分に知っていただいて、温かみがあり年月とともに味わいや風格が出てくる無垢材のよさを好む方々も多くなり我々も嬉しい限りです。



住まいについてのいろいろな話 (家の手入修繕から、気をつけることなど)

第9回

建物のメンテナンスの一つに昆虫と動物の被害があります

詳しい生態や駆除の方法はここには書ききれませんので、本なりインターネット等で検索して下さい。
ここでは実際に現地で、あるいは被害にあった状況などから、感じたことを述べてみます。

シロアリ (ヤマトシロアリ イエシロアリ)

床下や浴室など湿気がこもるところに多くは発生します。極端に言えばシロアリはどこにでもいると考えると、立ち枯れの木や切り株にはすぐにつきまします。家の中では湿気を含む木材につきますが、基本的に乾燥した木材は食べないと考えてよいでしょう。また湿気のある本、畳、なども食べるので要注意です。ヤマトシロアリは京都では5月の連休明けの雨が降った翌日か翌々日の晴天の日に巣別れをします。女王蟻が仲間の1部を連れて他に巣を作るため、羽蟻として飛び立ちます、家の内外にたくさんの羽蟻を見つけたらシロアリ被害を考えましょう。対症療法もいいのですが根絶は専門業者の手で無いと無理です。しかし出たかといつて必要以上に怖がる事はありません。人によればシロアリで家中が食われるのではないかと心配されますが、湿気たところが無くなれば多くは別の餌場を求めて移動します。古い町家では水廻りではシロアリ被害はあるものとして工事しますので、ごく普通のことです。

ヒラタキクイムシ

シロアリと違って乾燥剤を食べます。ラワン等の輸入材や広葉樹を食べます。シロアリのようにコロニーを作り何万匹となるのではなく、単独で食害します。1~2mmほどの丸い穴が開いて中心に向かって進んでいきます。古い梁材などに点々と開いているのをよく見ます。それほど怖い害虫ではなく、見つけても慌てる必要はありません。成虫の寿命は1~2ヶ月です。穴に防虫剤をスプレーすれば良いでしょう。

ガイマイゴミムシダマシ

あまり聞かない名前です。多くは食品につき食害しますが、たまに建材も食べます。実は最近この被害にあって、始めてみる被害の形にいろいろと調査した結果出てきた名前です。専門業者もこの被害は見たことが無いといつて、少し残っていた極小のフン(らしきもの?)と被害の写真を殺虫剤メーカーで検査してもらって始めて判りました。持ち込まれ

た食品についてきたのか飛来してきたのか判断できませんが、周辺の消毒ぐらいしか手がありません。

ネズミ

大昔からいますが、近年家の密閉度が高まり容易に入ってくることはなくなりました。古い町家なんかは多くは無防備なのでいつの間にか侵入してきます。入ったものは古典的な駆除法と業者に頼む方法があります。また1度駆除したら外から入らないように家の周囲の密閉度を高くすべきです。基礎廻りはもとより屋根廻りも要注意です。

イタチ

ネズミなどの餌を求めて入ってきたり、巣を作るために入り込みます。独特のにおいがするので良く分かります。入られたらまず追い出す事から始めます。夜行性なので昼間は巣にじっとしていますが、夜になるとその家の天井内などを走ります。また屋外に餌を求めて出て行きます。実は出入り口があるのでここを探します。基礎の周囲と屋根の周囲とか、家の外側に小さな穴が無いか探します。疑わしい所には新聞紙を丸めて軽く突っ込みます。イタチが中から押し出ますので入り口の新聞紙は朝になればポトリと下に落ち確定できます。後はこれを塞げば概良いと思います。イタチは2mぐらいの垂直の塀ならば簡単に駆け上がって行きますので軒下や屋根の上も注意が必要です。

ヘビ

今はあまり見かけませんが、ネズミを追って入ってきます。これがいるとネズミは逃げるので昔はあまり気にしませんでした。

次は、ア。もう終わりだ、ではまた次回に。



防災訓練に参加して

(上京区の総合訓練)

私事(村上)ですが、現在自宅の町内の町会長をしています。自動的に防災部長も兼任します。10月の14日は上京区の総合防災訓練がありました。区役所、警察、消防、消防団、各学区の防災会、関電水道局大阪ガス、消防レスキューと一緒に集まり模擬訓練を行いました。

警察からは白バイではなく、トライアルバイクにての、災害を想定してのバイク演技(ま〜、オートバイの障害物競走のようなもの)、なかなか上手でしたよ。消防団による放水実演、消防レスキューによる人命救助実演、防災会による仮設トイレの設置訓練、備蓄食料による炊き出し訓練などです。

ナカナカ、防災訓練なんかは面倒で行きませんが、訓練を見ていると必要性を感じます。皆様の地域でもあるかと思いますが、少しでも知っているのと、何も知らないのとでは大きな違いです。建築関係者はいろんな道具の使い方を大方は知っていますが、一般の方々はほとんど知識が無いと思います。いろんな防災用の道具や設備が各学区ごとに設置や準備してあります。設置場所や倉庫や操作方法を知る為にも、参加は有意義だと思います。

いろんな所からさまざまなお話が入ります

おもて表紙の写真は北白川小学校での講演です。児童生徒相手に何を話せばいいのか悩みましたが、皆さん喜んで聞いていただきました。9月末にはNPO法人古家改修ネットワークの2回目の住まいの傷みの見分け方の講演をアラキ工務店会長の荒木正亘氏にお願いし盛況でした。私は司会です。

12月には早くも第3回目の講演を行います。今回は水道とガスに関するいろいろな事です。熱心に聞いて下さる人が多いのでやりがいがあります。

終了後にも個別の相談をされる方もおられて、会場の時間を気にしながら対応しています。誰に相談すればいいのかわからない方々も多いんだなと感じています。

また、11月8日・9日に開催される京都中小企業展『テクノ新撰組』にも参加することになりました。弊社会長が作成した京町家1/10模型を展示する予定です。

いろんなご縁で、少しずつですが輪が広がっているなと大変うれしく思っています。



編集後記

西宮へ2~3日に1度行く事約4ヶ月かかりました。名神高速は約40分乗ります。40分と言えば市内なら私の家の往復時間です(昼間)ほぼ12km。家の往復はまったく疲れませんが、高速の40分はなぜか

ぐったりです。やはり緊張しているかなと感じます。ですが単調なのか時々睡魔が襲います。市内の運転中はまったく眠くなりません。アレ、緊張しているのに眠くなる、緊張しないのに眠くならない? なんか変だな〜、緊張=眠くならない=疲れる はずなのに 村上